

ことは控えておられたが、私ども門下生の研究の展開には常に気を配られ、最近に至るまで終始お励まし下さったことには感謝の念で一杯である。

学長職の任期満了とともに私生活に戻られるはずが、その後も関西新空港調査会を始め、数々の社会的要職を務められたのは立場上仕方ないことであつたと思われる。1993年10月に永年たしなまれてきた俳句を奥様と共著で「浜寺八十年」という句集にまとめられたが、これにはかなりの精力を注ぎ込まれた御様子で、その完成と同時にこれまで蓄積された心労が一挙に吹き出たかのように、お伺いすると弱音をはかれるようになり、4月

27日に急性肺炎で入院され、回復されぬまま不帰の客とられた。

学会創設30周年を迎えるにあたり、先生の御逝去を時の流れとして実感せざるを得ないが、同時に次のステップへの新たな飛躍を小野先生の霊に対してお誓い申し上げたい。

肖像画について：御親交のあつた丸山石根画伯が描かれた小野先生像。丸山画伯は学者としての厳しさが抜けているのでは、と気にしておられる。

(大阪府立大学農学部) 高橋克忠

---

## ICTAC第2代会長C. B. Murphy氏のご逝去を悼む

国際熱分析連合 (ICTA) (現在は国際熱測定連合 (ICTAC)) の第2代会長 (1968-71) を務められた Cornelius Bernard Murphy 氏 (通称 Connie) が本年4月2日に75才で逝去されました。氏はアメリカで生まれ、Holy Cross College で化学を学び、同校助教授 (1945-52)、American Cyanamide 社 (1953-55)、GE 社 (1956-64) と移り、最後に Xerox 社 (1965-82) において分析部門を統括するとともに、カラーコピーや磁気コピーの研究に寄与しました。

C. B. Murphy の名前は、Anal. Chem. 誌の「熱分析」部門の総説を1958年から2年毎に書き、熱分析の技法に対する興味を喚起したことで世界に知られています。また、2代目会長として ICTA の発展に尽力し、Mettler 賞と DuPont-ICTA 賞を受賞されました。日本における熱分析の発展も Anal. Chem. 誌を通じて氏の恩恵に預かるところが大きかったと思います。C. B. Murphy 氏のご冥福を祈ります。(埼玉大学理学部 柴崎芳夫)